

# Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 22 号 (2020 年 7 月 10 日発行)

九州での豪雨被害について、お見舞い申し上げます。

また新型コロナウイルス感染症について、新しい生活様式の下で活動が再開されているものの、首都圏では油断のできない状況が続いております。引き続き感染防止の努力をお願いいたします。

## ● 本号の内容

- ・ 皆様への引き続き新型コロナウイルス対応のお願い
- ・ 第 8 期 総会・懇談会開催のお知らせ
- ・ 山西未来塾のご案内
- ・ 公認大会改革の方向性について
- ・ JOA・学連協働プロジェクト オンライン講習・動画配信 「今だからこそ、できること…」
- ・ ねんりんピック岐阜 2020 大会延期のお知らせ
- ・ 全日本リレー大会要項のご案内
- ・ 今後の公認大会・講習会のお知らせ
- ・ 第 24 回理事会議事録

## ● 皆様への引き続き新型コロナウイルス対応のお願い (会長：山西)

4 月 1 日付で皆様へのお願いを発信してから 3 ヶ月以上が経過しました。この間、2 ヶ月ほどの緊急事態宣言も解除され、移動自粛についても一応の解除を見ました。

すこしずつ日常を取り戻しつつある社会生活に呼応し、オリエンテーリング活動が感染防止に配慮しながら各地で再開され始めています。

一方で、国民の感染率は 0.1%程度と推定されており、国民のほとんどが新型コロナウイルスに対して感染リスクがある現状はなんら変わっておりません。

当法人として、今後の大会等開催に向けての指針を、日本スポーツ協会のガイドラインを元に作成中であり、近日中に皆様にお知らせする予定です。

当法人はこれまでも、長期的な視野と爆発的感染防止の両方のバランスを踏まえた皆さんへのお願いをして参りましたので、この基本的な方針になんら変更はありませんが、移動の自粛要請が終了し、皆さんの移動が再開されましたこのタイミングに、再度、爆発的感染を防止するための努力継続を下記 pdf の内容でお願いする次第です。

[http://www.orienteering.or.jp/joa/2020/2020\\_0622\\_counter\\_COVID-19.pdf](http://www.orienteering.or.jp/joa/2020/2020_0622_counter_COVID-19.pdf)

## ● 第 8 期 総会・懇談会開催のお知らせ (事務局)

下記の通り、第 8 期総会と懇談会を開催いたします。

日時：2020年7月26日(日) 13:00~15:00

場所：渋谷区立勤労福祉会館(会員代表一名のみ)

13:00-15:00 総会

15:00-17:00 懇談会 議題予定

「山西会長とオリエンテーリングの将来を語ろう」

「公認大会改革の方向性」

今回の総会におきましては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom を利用しての中継を行う予定です。意見を戴ける形にと考えていますが、議案に対しての決議には参加できませんのでご承知願います。

リモートシステムは安定性の観点から、総会に正式に利用することは困難ですが、遠隔地の会員に JOA の活動と総会の様子を知っていただく上で有用であることから、今回試行的にリモートシステム Zoom による総会参加を実施します。以下の点をご理解の上、ご検討ください。

①Zoom の接続には相応の仕様の PC とネット環境が必要です。詳細や接続テストをご希望の方は事前に事務局までお問い合わせください。

②システムは完全ではなく、途中切断する可能性があることをご理解ください。

③意見は表明できることとしますが、議決には参加できません。したがって修正動議等も提出することはできません。議案についての賛否表明はあらかじめ議決権行使書を利用してください。

④接続のための URL は、7 月 22 日に、会員向けメーリングリストで流します。

#### ●山西未来塾のご案内（副会長：愛場）

このお盆休みに、初めての試み「山西未来塾」を開催いたします。8 月 14-16 日、合宿形式で 20 代～40 代の方を限定とした、オリエンテーリングの未来を考える会です。

<http://www.orienteering.or.jp/event/2020/20200814yamanishi.ver2.pdf>

JOA の山西哲郎会長（群馬大学名誉教授）は、陸上競技、市民ランニング界の大御所であり、自然流ランニングの提唱者でもあります。会長に就任されて 8 年、熱い思いでオリエンテーリングのスポーツとしての価値の啓発に力を注いでおられます。

この会の目的と趣旨は、オリエンテーリングの本質は何か、オリエンテーリングの抱える課題は何か、などを話し合うことにより、近未来の日本のオリエンテーリング界を担う人々が理念を共有すること。また JOA のすべき具体的な方策、行動指針（中長期ビジョン）のヒントを得ることを目標としています。また議論だけではなく、妙高高原杉野沢地区の豊かな自然環境の中で、会長直々の指導のもと、トレーニングの機会も持つ予定です。

スプリント種目、OCAD、電子パンチ、トレイル 0、などなどは、40 年前にはありませんでした。

「スピード感のある、観客から注目される大会をしたい」「正確できれいな地図で競技したい」「ラップタイムやロスタイムを知りたい」「障害のある人にもオリエンテーリングを楽しんでもらいたい」、そんなさまざまな思いがオリエンテーリングのあり方を変え、歴史を作ってきました。これから、20 年 30 年後の未来のオリエンテーリングの姿を想像し、いま私たちは何をしてゆけばよいのかを語り合ってみませんか。

#### ●公認大会改革の方向性について（副会長：愛場）

公認大会が持つべき役割としては、1) 日本選手権者の決定と選手のランキングを公平に行う 2) みんなのスポーツというオリエンテーリングの理念を具現する 3) そのための大会運営のモデルを提示する、などが求められています。

一昨年 2 月より JOA では公認大会改革に取り組んでおり、昨年 9 月にワーキンググループから出された報告をもとに、具体的な制度設計を検討し始めました。

[http://www.orienteering.or.jp/joa/2019/kounintaikai\\_houkoku.pdf](http://www.orienteering.or.jp/joa/2019/kounintaikai_houkoku.pdf)

上記報告にも書かれている通り、公認大会には様々な問題が指摘されていますが、JOA 内で設けた、関係者 12 名からなる検討会議で議論を行った結果、最初のステップとして、「(仮称) ランキング対象大会」を制度化してゆくことになりました。

<http://www.orienteering.or.jp/joa/2020/kounintaikaikaikau20200622.pdf>

現在、これに関するご意見を募集中です。今後は、令和 2 年度中に新制度の詳細と関連する規則を整備し、令和 3 年度には移行できるように準備を進めてまいります。

# JOA・日本学連協働プロジェクト オンライン講習・動画配信



今だからこそ、できること…

(顧問：村越)

## 1. プロジェクトの趣旨

4月上旬の新型コロナウイルス対策のための緊急事態宣言以来、社会全体はもちろんのこと、スポーツ界においても厳しい状況が続いています。多くのアウトドアイベントが中止になりました。競技者は活躍の場を失い、愛好者の皆さんも活動の場を失っていることに戸惑いや困惑を感じていることと思います。

今、オリエンテーリングを楽しむ機会が失われていることは問題ですが、それに加えてこの状況が続けば、オリエンテーリングへのモチベーションが低下することや組織活動の停滞、さらには組織維持にも影響がでることが懸念されます。

このような中でも、オリエンテーリングを続ける努力や工夫が各地で行われています。本プロジェクトは日本オリエンテーリング協会と日本学生オリエンテーリング連盟が協働で、オンラインでの講座、動画配信等を通して、地域のオリエンテーリング活動を支援するものです。

本プロジェクトは感染防止対策だけを目指したものではありません。職場や学校でリモートによる会議や学習等が増えており、国民の多くがリモートによる活動を肯定的に受け入れるようになっていきます。リモートによる会議や学習は、距離という足かせをなくしてくれました。この状況を最大限に活用し、トップアスリートや優れた運営者・指導者と地域を結び付けることで、これまで距離が足かせとなっていた地域の愛好者に、より深いオリエンテーリングの楽しみを届けるとともに、講座提供者の活躍の場を維持することが本プロジェクトの狙いです。

## 2. プロジェクトの目的

- ・オンラインで知識や技術を提供し、地域の活動と組織の維持を図る
- ・アスリートや運営者・指導者に活躍の場を提供する
- ・コロナ感染防止対策下で、オリエンテーリングの楽しみを再発見する

## 3. プロジェクトの内容

本プロジェクトでは、以下のカテゴリーで情報提供やオリエンテーリング情報のオンライン提供を図っていきます。JOAのオンラインのページをご覧ください。

<http://www.orienteering.or.jp/joa-about/online/>

### 【1】オンライン講演会

多くの聴衆（50人～）を対象とする無償の講演会です。これについてはすでに学連主催で4回、JOA主催で3回が開催され、トップ選手やトップの運営者が講演を提供し、のべ700人以上が聴講しました。現在予定している講演はありませんが、今後も定期的に配信していく予定です。

### 【2】オンライン講習会（10～15人程度）

運営や技術のトピックについてじっくり学んでみたい方を対象に、90分程度の講習会を有償で配信します。定員は15人程度なので、普段は聞けないトップ選手やトップ指導者、運営者から、それぞれの分野についてのノウハウを双方向的に学ぶことができます。

今後の配信予定としては、7月11・12日：読図講習会のための地図の作り方講座（講師：小泉成行氏：定員により締め切り）8月7日：コースプランニング：よりよいコースのために（ロング編）（講師：村越真氏）、8月中：「最も準備したものがレースを制する-目標大会に向けたアプローチ法」オリエンテーリング技術（講師：尾崎弘和氏）、9月22日「ナビゲーションスポーツのためのナビゲーションの基礎」（講師：小泉成行氏）を実施予定です。

詳しくは、JOAのオンラインのページをご覧ください。

### 【3】トピック動画

技術やオリエンテーリングの楽しみについての短いビデオクリップをYouTubeに掲載します。

### 【4】オンラインイベント

オンラインで楽しめるオリエンテーリング行事やソフトウェアの情報提供をしていきます。

## ●ねりんピック岐阜2020大会延期のお知らせ（岐阜県協会会長 大場尊美）

ねりんピック岐阜2020オリエンテーリング交流大会につきましては、2020年11月1日（日）開催を目指して準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの流行により予定通りの実施が困難となりました。何よりも参加者及び関係者の健康・安全面を考慮し1年延期が決定されました。この大会を楽しみにしておられたみなさまには大変申し訳ありません。

また、次年度以降の開催が決定していた神奈川県、愛媛県、鳥取県の関係者の皆様にも1年間の延期を受け入れていただき感謝を申し上げます。

残念ですが、開催に向けて1年間の時間をいただいたということで、よりみなさまに楽しんでいただけるとともに万全の健康・安全対策を施し安心して参加していただける大会を目指して努力を続けていく所存です。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、関連大会も含めての開催予定は、下記のような予定です。

令和3年10月30日（土） ねりんピック前日公認スプリント大会  
10月31日（日） ねりんピックオリエンテーリング交流大会  
ねりんピック併設一般交流大会

開催地 下呂市萩原町四美地区

\*今後の情報については、以下のホームページ等をご確認ください。

ねりんピック岐阜2021 <https://nenrin-gifu2020.jp>  
岐阜県オリエンテーリング協会 <http://www.orienteering.com/%7Egifu/>

## ●全日本リレー大会要項のご案内

下記の通り、2020年度第29回全日本リレーオリエンテーリング大会を開催いたします。

開催期日 2020年11月8日（日） 雨天決行・荒天中止  
競技場所 鹿児島県南さつま市  
競技会場 南薩少年自然の家 [南さつま市金峰町高橋3252]

詳細は下記JOAホームページにてご確認ください。

<http://www.orienteering.or.jp/event/2020/jroc2020ver.2.pdf>

## ●今後の公認大会・講習会のお知らせ（状況により変更の可能性があります。）

|          |                            |               |
|----------|----------------------------|---------------|
| 8月8-9日   | インストラクタ養成講習会               | (岐阜県)         |
| 8月14-16日 | 山西未来塾                      | (新潟県)         |
| 8月16日    | 関東学連スプリントセレ兼上尾OLC大会        | [公認S] (埼玉県)   |
| 8月29-30日 | 2020年度イベントアドバイザー講習会        | (滋賀県)         |
| 9月12日    | 第3回東京理科大学オリエンテーリングクラブ大会    | [公認S] (東京都)   |
| 9月27日    | 第25回京都大学京都女子大学立命館大学大会      | [公認B] (滋賀県)   |
| 10月4-11日 | WMG/WMOC2021 関西プレイベント3日間大会 | [公認A/S] (兵庫県) |
| 10月25日   | 青い森Apple 2Daysオリエンテーリング大会  | [公認B] (青森県)   |



|           |                         |        |
|-----------|-------------------------|--------|
| 11月8日     | 全日本オリエンテーリング大会(リレー)     | (鹿児島県) |
| 11月21-22日 | 全日本オリエンテーリング大会(ミドル・ロング) | (長野県)  |
| 11月28-29日 | 第2回イベントアドバイザー講習会        | (埼玉県)  |
| 12月6日     | 全日本オリエンテーリング大会(スプリント)   | (東京都)  |

## ●第24回 理事会議事録

- 開催日 2020年5月24日(日) 13:05~17:00
- 開催地 リモート会議(ZOOM)
- 理事 19名中18名が出席し、定足数を満たした。  
(出席) 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 前田(大里)真理子 楠見耕介  
愛場庸雅 瀬川 出 羽鳥和重 茅野耕治 小林 力 宮川早穂  
藤本拓也 新帯 亮 島津 弘 山西哲郎 信原 靖 奥田健史  
(欠席) 高橋利之  
監事 尾上秀雄 齋藤和助(欠席)  
オブザーバー 村越 真 谷野文史  
記録 高村 卓
- 議長 定款第32条により、愛場副会長を指名した。

### 審議事項

- 第1号議案 2019年度事業報告書
- 第2号議案 2019年度収支決算書
- 第3号議案 基本財産の一部取り崩しについて
- 第4号議案 理事の交代
- 第5号議案 スキーオリエンテーリング関係規則改訂案
- 第6号議案 委員会委員長の交代と委員追加案
- 第7号議案 オリエンテーリングオンライン動画講習会企画案
- 第8号議案 スイスオリエンテーリング協会への寄付送金

なお、第7号議案と第8号議案は、審議事項ではなく報告事項のため、各申請者から取り下げとなった。審議事項は第1号から第6号までとなった。

その他 総会の日程・方法の検討

### 第1号議案 2019年度事業報告書

事務局から事業報告書に基づいて説明後、質疑応答に入った。特に内容についての質問はなく、語句の修正が7カ所出された。

- ・[1]5項の2018年度→2019年度に。
- ・公3、競技力向上から、9頁の国際委員会から日本スポーツ振興基金助成の項目番号の修正。
- ・資料3、日本学連の事務局住所「塩谷郡」の前に栃木県を加える。
- ・(取扱に注意願います)を削除。

業務監査について、尾上監事から報告があった。

以下のような要請があった。

- ・基本財産の運用規程の整備、確認体制の強化、存在意義の再確認すること。
- ・議事録だけでなく議案書も含めた情報が閲覧できるように、理事向け情報倉庫の新設をすること。
- ・事業・予算計画の進捗の見える化を進めること。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

### 第2号議案 2019年度収支決算書

事務局から収支決算書に基づいて説明。

顧問の村越氏から正味財務減少分析について説明があった。2018年度は250万円の黒字、2019年

度は450万円の赤字となった。減少原因として、寄附金150万円減、物販40万円減、受取登録料36万円減。支出の増加原因として、管理費55万円増(事務局機能の強化)、事業費増、WEBサイト構築費40万円(毎年50万円づつ)、スイスOL協会への寄附金30万円、などが挙げられた。

会計監査について、尾上監事から以下の3点の要請があった。

- ・過年度未収会費の統一的な処理方法の確立
- ・各委員会独自口座の監査の実施
- ・指定寄付金集金状況の開示(今年度より、四半期毎にホームページで)

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

なお、財務今後の進め方について大里副会長から提案された。

- ・事務局会議を2ヶ月に1回
- ・来年度に向けての財務運営
- ・四半期毎の決算状況の開示
- ・寄附金の金額と用途の開示

等が提案された。

### 第3号議案 基本財産の一部取り崩しについて

事務局から、基本財産として定期預金2000万円のうち、1000万円を普通預金に切替、事業等への運用を出来るように、2017年5月の第14回理事会で承認されていたが、総会の議決を経ていなかったもので、次期総会にて承認を得るため、総会審議事項として提案。

WMG2021実行委員会に500万円を前払金として払い込んだ事をうけ、会計監査から借用書がないことの指摘を受けた。実行委員会から借用書を受け取ったことを説明した。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

### 第4号議案 理事の交代

事務局から、日本学連推薦理事1名の交代があり、以下のように提案、総会への審議事項とすることを提案した。なお、その年度の幹事長が学連推薦理事のうち1名になる。

退任 藤本拓也

新任 谷野文史

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

### 第5号議案 スキーオリエンテーリング関係規則改訂案

信原理事から、スキーオリエンテーリング関係規則改訂案の提案がされた。

- ・日本スキーオリエンテーリング大会競技規則
- ・全日本スキーオリエンテーリング選手権大会(個人競技)実施基準
- ・全日本スキーオリエンテーリング選手権大会(リレー競技)実施基準

スキーオリエンテーリング大会競技規則ではなく、Footと同様に「競技規則」ではないかと質問がでた。信原理事から、大会を開催するための規則で特に問題はないと回答した。

また、21歳年齢の区分けの語句を一部修正することになった。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

### 第6号議案 委員会委員長の交代と委員追加案

強化委員会、全日本大会委員会、アスリート委員会の各委員会から提案があり、各委員会ごとについて、それぞれの審議を行った。

6-1 強化委員会 藤井理事から、委員長の交代と委員の追加を提案した。

委員長の交代 退任 寺嶋一樹

新任 稲葉英雄

委員の追加 入江 崇

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

6-2 全日本大会委員会 木村理事から、委員の追加を提案した。

山川克則、西村徳真、宮西優太郎、坂野翔哉の4名の追加が提案された。

推薦された候補者が地図作製や大会運営を業務にしていることが、助成金申請の際に障害にならないかと質問がでた。委員就任は利益相反になるので不適、という意見が出た。

付帯として、JSC(日本スポーツ振興センター)に確認することが提案された。

また、利益相反ルールに関する規程を整備することが提案された。

以上、審議の結果、信原理事、茅野理事は反対した。その他16名の理事は賛成した、賛成多数により承認された。

6-3 アスリート委員会 宮川理事から、委員の追加を提案した。

加納尚子(MTB-0)、菅谷裕志(Foot-0)、石原湧樹(Ski-0)、岩田健太郎(Trail-0)の4名の追加が提案された。

以上、審議の結果、出席理事18名が賛成し承認した。

### 検討事項

総会の日程、開催方法の検討

- ・検討の結果、対面方式で行う事になった。新型コロナウイルスの流行などの社会状況によっては変更もある。
- ・事務局にて、会場手配を行うことになった。
- ・日程候補 7月26日(日)または25日(土)

### 報告事項

1. オリエンテーリングオンライン動画講習会企画

村越顧問から提案があり、学連と協働でJOAとして進める。

2. スイスオリエンテーリング協会への寄附送金

大里理事から提案されたが、本件は、スキーオリエンテーリングをユニバシアードに採用されるよう、スイスオリエンテーリング協会が同国開催のユニバシアードでのスキーオリエンテーリングの実施に資するため、2019年5月理事会にて承認されていた。2019年度に3回の内1回分が送金済み、2回目を2020年度の7月末までに支払うための確認報告。

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止についての日本スポーツ協会の指針を受けて、JOAとしての指針を作成中。

以上